



済州特別自治道における 高齢社会への対応戦略及び優秀施策

Jeju 済州特別自治道

高齢社会への
対応がなぜ必要なのか？



■ 人口構造が先進国型に急変

- 期待寿命の高齢化
- 少子化による出生新生児の減少

[老年(高齢者)人口]

14%



2017

VS

20%

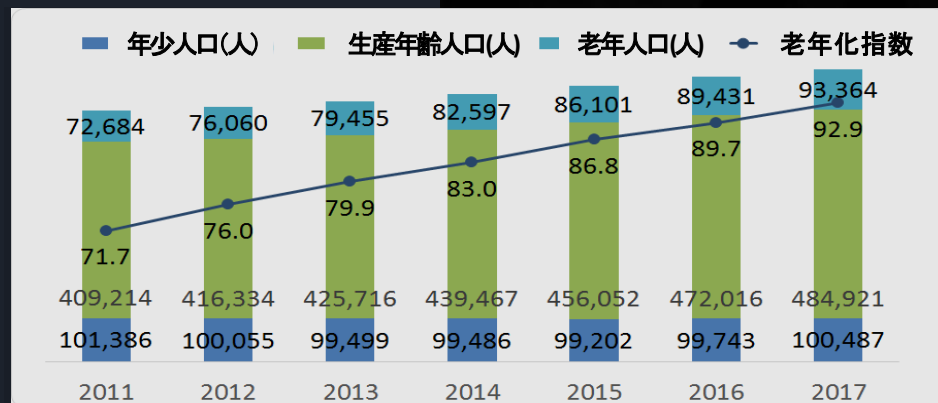


2026

高齢社会に突入

超高齢社会になると推定

■ 済州の老年人口の推移



[65歳以上の老年人口]



[老年化指数]



■ 老年化指数：
年少人口100人に対する
老年人口の割合

👉 2017年に高齢社会に突入(65歳以上の人口が14.1%)し、
2025年には超高齢社会への突入(65歳以上の人口が20.8%)が予想される。
殆どの邑面(町村)地域が、既に超高齢社会に突入している。

高齢社会に突入した 済州特別自治道の対応戦略



■ 済州の高齢者福祉及び高齢社会のビジョン・目標・戦略

ビジョン

人間中心の済州高齢者福祉コミュニティの具現

目標

済州型エイジフレンドリーシティづくり

戦略

- ・ 安全安心で快適な住まいの生活環境づくり
- ・ 自尊心を保持した老化と、安定して活気に満ちた老後生活の基盤づくり
- ・ 諸世代間社会部門とのコミュニケーション・配慮・尊重を通じた社会統合
- ・ 多様な社会的主体の相互協力と連帯を通じたネットワークの強化戦略

コアバリュー

人間中心

相互尊重
共生・統合

スヌルム(労働力の相
互交換)コミュニティ

幸せ

■ **WHO**の「エイジフレンドリーシティ」
グローバルネットワーク 加入及び認証 (2017年7月27日)

あらゆる世代が、
積極的に
社会参加できる
JEJU

世代に関係なく、
全ての人を**尊重**、
尊敬するJEJU

年齢を問わず、
誰もが**活動的**で
健康的な生活を営み、
維持できる
JEJU

尊厳を保ち楽しい
生活を自分の
力で営むことができない
人々を助ける
JEJU

済州の エイジフレンドリーシティづくりに 関わる優秀実践事例



■ 高齢者を対象にした「幸せタクシー」の運営

- 公共交通の利用に困難がある地域(農・漁村)に住む高齢者に対して、その不便を解消することによって、誰もが享受できる交通福祉を実現

取り組み内容

- ・ 導入時期: 2018.3.9～
- ・ 利用対象: 12邑・面地域に居住する70歳以上の高齢者(27千人)
- ・ 利用車両: 道内の全タクシー
- ・ 利用料金: 1回の利用につき最大7,000ウォンを道が支援、超過分は自己負担/年24回使用
- ・ 利用カード: 済州交通福祉カード(70歳以上を対象に既に発行されているバスカード)
- ・ 利用件数: 91,009件 (2018年3月～10月12日)

■ 敬老堂1か所につき講師一人の養成及び生涯教育強化

- 才能を備えた高齢者を、講師養成課程の履修後に地域敬老堂でボランティアプログラムを運営するように支援し、社会貢献の機会を提供する傍ら講師不足を解消する

* 済州道優秀施策

取り組み内容

- ・ 事業対象：敬老堂を利用する高齢者のなかの才能がある人
- ・ 事業内容
 - － 講師養成：総60時間（週2回、2か月）、基本教育と現場実習
毎年30名養成、講師委嘱107人のうち58人が活動中
 - － 活動場所：道内の敬老堂103か所
 - － 運営分野：シルバーヨガ、園芸治療、落下や転倒による怪我予防体操、スマホ教室、歌の教室、シルバーダンスなど、敬老堂の余暇プログラムの開発及び普及
 - － 「訪問映画館」の実施：民間セクターと連携推進（ボランティアなど）、敬老堂やマウル会館など

■ 高齢者人口の10%の高齢者雇用創出

取り組み内容

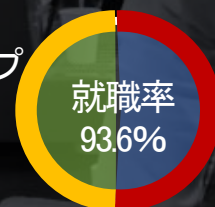
- ・ 急増する老年人口に伴う高齢者雇用の拡大推進

[働き口]



[就業教育センター: 174人中163人達成(2017)]

専門分野育成グループ
- シニアモデル、
- 本遊び指導士、
- 療養保護士など



資格証取得者グループ
- シニア観光ガイド、
- バ리스タ、
- 伝統遊び、
- 文化解説士

- ー 済州地域高齢者にやさしい企業の設立(17年～18年): 2か所(伝統料理体験など)
- ー 高齢者の雇用および社会活動支援事業運営評価で大賞受賞(2018. 9.19)

* 6年(2012～2018年)連続で保健福祉部評価優秀機関に選定

■ 独居高齢者エネルギー支援事業

- 地球温暖化などの気候変動の影響に脆弱な独居高齢者(約2,900人)への冷暖房支援を通じて、酷寒酷暑期の高齢者保護システムを構築 * 2017年に条例制定と支援:全国初の導入

取り組み内容

- ・ 事業導入: 2017年11月～
- ・ 事業対象: 独居高齢者約 2,900人
- ・ 支援基準: エネルギードリーム(冷暖房費)バウチャーカード - 年85千ウォン/1人
 - ▶ 支援根拠: 済州特別自治道の独居高齢者の保護支援条例(制定2017. 8. 9)
 - ▶ 支援予算: 2017年度250百万ウォン

독거노인
에너지드림
지원사업



‘高齢親和都市’？ = 誰でも一生暮らしてみたい都市！

良い政策

活気に
満ちた
人生

共に
暮らす

■ UCLGグローバル青年文化フォーラム

- 済州の旧都心を再解釈し、新しい文化芸術基盤として生まれ変わるグローバル文化のプラットフォームとしての基盤を構築し、国際文化専門家と地域の青年たちによる文化芸術プロジェクトを通じて済州地域に寄与し、長期に於いて他者間の文化芸術交流活動が可能なグローバルネットワークプラットフォーム事業

取り組み内容

- ・ 事業期間：2019年11月(予定)
- ・ 参加：UCLG会員の都市及び済州道の住民約400名(青年文化フォーラム)
- ・ 主な内容：
 - グローバル文化の専門家と青年たちの芸術活動及びその成果による文化フォーラム開催
 - 世界の青年芸術家たちのグローバルコミュニティー活動を通じた3つの分野の
(2018年度3つの分野を選定 → 2019年度に続けて実施))
 - ▶ ナムソン路活性化文化芸術プロジェクト / 旧都心近代建築物再考文化芸術プロジェクト
 - ▶ 旧都心公共空間青年文化芸術のためのプロジェクト
→ グローバル青年文化フォーラムで文化芸術専門家地域住民と共有

일시 : 2018. 5. 16(수)

주최 : 제주특별자치도

주관 : JRI 제주연구원 제주고령사회연구센터

ありがとうございました